

2021年10月29日

各 位

会社名 株式会社タカミヤ
 代表者名 代表取締役会長兼社長 高宮一雅
 (コード番号2445 東証第一部)
 問合せ先 取締役兼常務執行役員
 経営戦略本部長 安田秀樹
 (TEL. 06-6375-3918)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2021年5月12日に公表いたしました、2022年3月期第2四半期(累計)及び通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,700	400	300	130	2.79
今回修正予想(B)	20,000	750	890	270	5.80
増減額(B-A)	300	350	590	140	
増減率(%)	1.5%	87.5%	196.7%	107.7%	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	19,539	1,097	994	593	12.75

(2) 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	42,000	1,800	1,580	1,000	21.47
今回修正予想(B)	42,300	2,150	2,170	1,140	24.28
増減額(B-A)	300	350	590	140	
増減率(%)	0.7%	19.4%	37.3%	14.0%	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	38,812	1,586	1,569	857	18.41

(3) 修正の理由

当第2四半期連結累計期間におきまして、販売事業は、次世代足場「I qシステム」の新規受注及び周辺機材を含むリピート受注が好調に推移いたしました。また、昨今の鉄鋼価格の上昇を鑑み、販売商品の価格改定を実施し、改定前の駆け込み需要などもあり売上高の上振れの要因となりました。

レンタル事業におきましては、民間建設工事の一部の現場において、工事の中断や遅延、着工の延期など、厳しい状況が継続しましたが、後半には底打ちが感じられ、首都圏の維持改修工事を中心に「I qシステム」の貸出量が高位で推移しました。一方で建築工事の新築案件や土木関連工事の発注量は少なく、特に土木工事用機材の貸出量が想定を下回りました。

海外事業におきましては、販売子会社が所在するフィリピンでは、政府による外出・移動制限措置により事業活動が制限されるなど、依然として厳しい状況が続いており、販管費の抑制に努めるなど施策を講じて、活動再開の機会をうかがっております。一方、韓国の子会社は、販売、レンタル事業共に国内経済の回復にあわせて順調に推移する見込みです。

また、当第2四半期連結会計期間において、当社保有投資有価証券の時価が著しく下落したため減損処理による投資有価証券評価損239百万円を特別損失に計上することとなりました。

以上の理由により、当第2四半期累計期間業績につきまして、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益を修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、上半期の修正に伴い、増額修正を行っております。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上